

がんばろう！東北

つなげよう！
まもろう！ あomorいのかわとみち



青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577
平成26年8月7日（木） 第213号

「漏水の見分け方」を学びました ～技術勉強会 開催～

河川管理における「漏水」とは、川の増水により水圧が高まり、川の水が堤防や堤防の下からにじみ出てきたり、吹き出る状態のことをいいます。漏水している箇所を放置すると、やがて堤防が弱体化し、決壊につながるおそれがあります。

洪水時、堤防の決壊を防ぐため、地域の水防団による水防活動が行われており、巡視を行い、漏水箇所が見つければ、「月の輪工」、「釜段工」と呼ばれる対策などを講じています。



昨年の洪水の際、「漏水」箇所の拡大を防止するため実施した「月の輪工」

平成25年台風18号により、岩木川では大きな出水となり、当事務所管内では、9箇所で漏水被害が発生しました。出水後に行った各自治体との意見交換で、「漏水かどうかの判断が出来なかった」、「水防工法時に防災エキスパートに現地指導してもらったのが助かった」という意見が寄せられました。

こうした声を踏まえ、平成26年7月31日、青森河川国道事務所において、「岩木川水系洪水予報・水防連絡会」が主催する「漏水の見分け方」についての勉強会が開催されました。

流域の市町村の防災担当者、青森県及び整備局の河川管理担当者など約80名が参加しました。

講師には、災害時、被災状況把握や地域の災害対策活動支援にボランティアで協力していただいている「防災エキスパート」の長尾廣さんをお招きしました。

単純な降雨に伴う【水たまり】と、河川の水が吹き出ている【漏水】の見分け方、漏水の危険がある場所の特徴などについて解説していただきました。

災害担当者でも、実際の「漏水」を見る機会は少ないので、今回の勉強会が洪水対応の知識の向上につながり、洪水被害の防止・軽減、効率的な水防作業に役立つことが期待されます。



勉強会の様子
図面や写真を使いわかりやすく解説していただきました。